

一日公開実施レポート

テーマ：「見る、さわる、わかる地球掘削科学の世界」

開催日：平成 26 年 11 月 3 日（日）

主 催：高知大学 物部キャンパス

来訪者：約 1,800 名

概 要：高知大学物部キャンパスの一日公開にあわせて、当センターも施設・設備の公開および研究内容の紹介を行った。この一日公開は、海洋研究開発機構高知コア研究所との緊密な連携のもと共同で行い、様々な体験イベントやセンター内一周クイズを行う等、ただ施設を見学するだけでなく、センターで行われている研究内容をより身近に感じてもらえるように趣向を凝らした。また今年も、「過去の巨大地震で集落が海に沈んだ」という言い伝えのある黒田郡について調査・研究をしている当センターの研究チームが、土佐清水市沖の海底から回収した石柱群の特別展示を行った。



内 容：

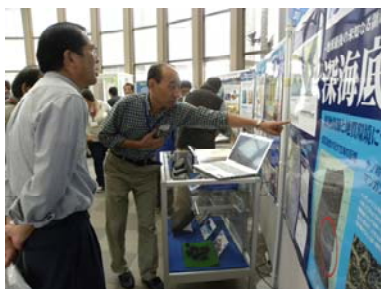
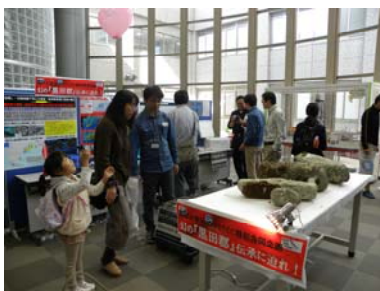
【エントランス】

<高知コアセンターの紹介>

高知コアセンターの紹介ポスターや IODP 掘削コアの実物およびレプリカの展示を行った。昨年好評だった海洋研究開発機構特製の T シャツや文房具などのオリジナルグッズ、書籍の販売を行った。

<高知大学特別展示>

過去の南海トラフ巨大地震による地殻変動や災害状況を解明し、防災・減災に役立つ知識を得るため、今年度から始まった「黒田郡プロジェクト」の経過報告を行った。



<海底の資源って、なんだろう>

海底資源のうちレアメタルを多く含有しているサンプルとして海底から採取したマンガンクラストなどを展示した。

【コアロギング室】



＜非破壊計測の世界＞

X線CTスキャナなど非破壊によるコア計測法の紹介を海洋コアや微化石などの測定結果の説明を交えて行った。

また、海底生物などのCT画像を3Dで表示し、マウスを使って全方向から観察できるコーナーを設けた。

＜ふしぎな岩石に触ってみよう＞

高知県内、四国各地、九州などで採取された岩石を展示し、四国の地質帯を構成する代表的な岩石の種類や産地などを説明した上で触ってもらい手触りや重さの違いなどを体感してもらった。



【第1コア冷蔵保管庫】

研究試料を保管するための冷蔵・冷凍保管庫の紹介としてツアーを実施した。防寒着を着用のうえ、高知の気候では体験することはないであろうマイナス20℃の冷凍保管庫にも入室してもらい氷の世界を体感してもらった。

コア保管庫の前には一日中長い行列ができていた。



【サンプリング室】

＜微生物を見てみよう＞

海の底に住んでいる微生物を泥の中から見つける手法を用いて、蛍光によってDNAを光らせた状態を肉眼や顕微鏡下で観察やその場で息を化学分析することを通して、微生物の研究について紹介を行った。



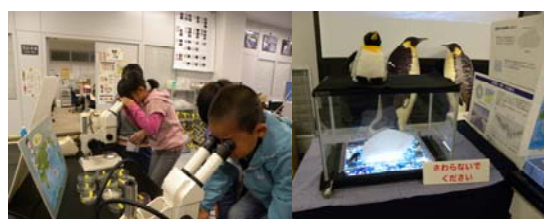
＜メタンハイドレートを燃やしてみよう＞

また、今後有用と考えられている海底資源メタンハイドレートを展示し、「燃える氷」の実演を行った。

＜砂粒・微化石の世界を覗いてみよう＞

世界各地で採取された砂粒やそこに含まれている微化石を実体顕微鏡で観察してもらった。また、南極海の氷山の氷や航海の写真展示を行った。

物部川の砂を使ったデルタ地形の再現実験を行った。



＜水深1,000mの世界を体験してみよう＞

水深1,000mに相当する水圧をかけることができる装置を利用して、水圧で発泡スチロールカップを潰す体験をしてもらった。圧力をかけるにつれて、徐々にカップが潰れていく過程を見てもらうことで、深海での圧力を視覚的に体感してもらった。

【微小領域室】

＜電子顕微鏡で見る微小な世界＞

微小な世界を観察できる電子顕微鏡を実際に操作してもらった。

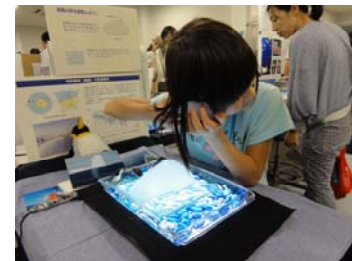
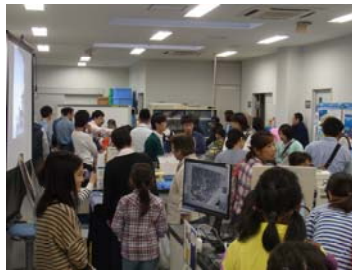


【新棟保管庫】

今夏に完成し、10月に落成した新コア保管庫の見学ツアーを行った。コア20万本、およそ150km相当分の海洋コア試料を保管できるコアラックが備わっており、掘削科学研究のスケールの大きさを感じてもらった。



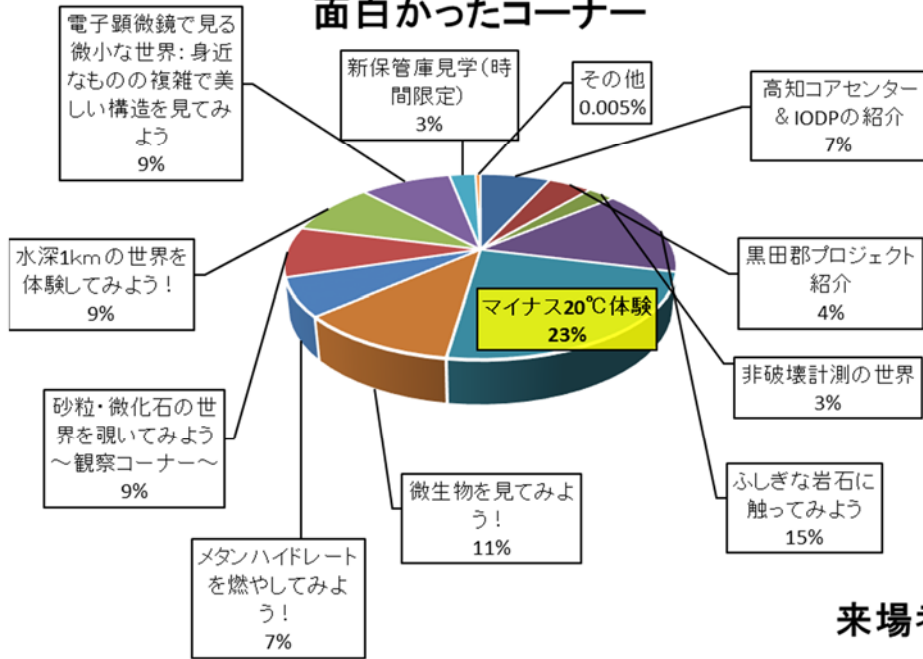
【写真集】



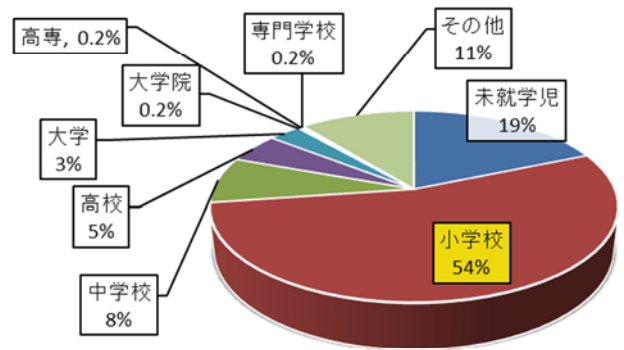
来場者アンケート結果



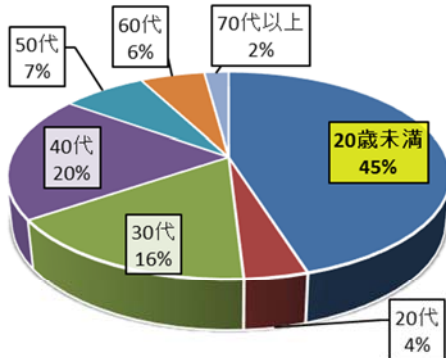
面白かったコーナー



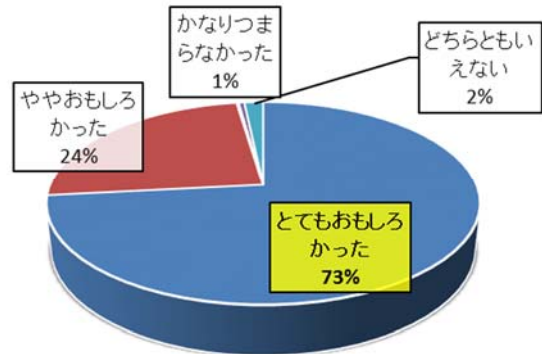
来場者の学校区分



来場者の年齢構成



1日公開の感想



これまでの来場回数

